

自己評価結果を公表します

児童発達支援事業ハートグリーンでは指定基準を満たしたうえで、より良いサービス提供を目指し、お子様の幸せに貢献し続けます。自己評価結果を公表することで、皆様に安心してご利用していただく一助となるためのものです。なお、評価基準は厚生労働省が定める「児童発達支援事業」をもとに独自に基準を設けています。

令和4年12月実施（20人中 回答数 14人）

児童発達支援事業 自己評価結果（保護者）

【環境・体制整備】

1. 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
13	1	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

法令を遵守したスペースを確保している。

保護者の評価

日々の活動写真などの様子から、1日の利用人数が10数人とバランスよく、狭いなと思ったことはない。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

例年通り、コドモンや連絡帳等を活用し、子供の日中活動の様子を伝えていく。
ハートグリーンの部屋のみならず、広い廊下やホールなど、施設内の活動場所を利用し、子供達の年齢や行動範囲などに合わせて活動していく。

2. 職員の配置数や専門性は適切であるか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
12	2	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

法令で必要とされている配置数での支援体制。

保護者の評価

先生1人に付き3、4人のバランスなのではないでしょうか・・・ちょうど良いかなと思います。手がかかり、目をかけなくてはいけないうちの子は先生数が少なくなったら気がかりです。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

1日の定員10名に職員2名、10名以上の時は3名が配置基準となっており、必ず配置は出来ている。

児童一人一人に応じた支援計画を基に、個別・集団それぞれ活動し、今後も、内部、外部の研修会への参加、事業内での勉強会・研修等を適時実施し、職員全体でスキルアップ出来る仕組みを整え、専門性の知識を高め日々取り組む。

3. 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
12	2	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

施設内はバリアフリー化となっており、障害の特性に応じた環境作りを心掛けている。

保護者の評価

「スプーン、フォーク」入れがあるようで、目的「この時に使うからここに」など視覚で区別が出来るようになっていた。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

子供の特性に応じた、環境作りを引き続き取り組んでいく。
コドモンを活用し、子供の日中活動の様子を通し施設内の様子も伝えていく。

4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
13	1	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

教材や遊具、設備、階段や室内等に危険な箇所や汚れている場所がないか等を毎日チェックしている。毎日清掃・消毒している。

感染予防対策として、おもちゃや生活空間のアルコール消毒や換気を行っている。

保護者の評価

角部屋ということもあり、明るくて良い。いろいろな活動が出来るよう、ホワイトボードでお絵描き、ケンケンパだったり、屋内で出来る対応が良い。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

現状を維持し、心地よい空間作りに気をつけ取り組む。
引き続き、感染予防・衛生管理対策として、おもちゃや生活空間のアルコール消毒や換気を行う。

【適切な支援の提供】

5. 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
13	1	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

計画期間、誕生月ごとに支援計画を作成している。

また、モニタリング後には職員間で子どもの様子・事例を共有・議論し、支援計画に反映するケース会議を行っている。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、楽しく学べる支援を追求する。

成功体験を重視し、様々な経験を増やす。

出来た、やってみる、出来るを増やし、自己肯定感を高められるように支援する。

出来るようになるとういう支援目標も分かりやすく保護者に説明する。

不明な点はいつでも問い合わせ出来るような体制を整える。

6. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
12	2	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

現在使用している支援計画には「項目」を設定し、それぞれ設定している目標に対しての支援内容を記載している。

計画期間ごとにアセスメントを取った上で支援計画を作成している。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

今後も児童に必要な支援項目を策定し、支援に取り組む。

各家庭それぞれにあった、目的、目標などを明確に伝え、必要な支援を適切に取り組んでいく。

7. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
13	1	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

保護者の意向、本人の希望、関係機関などと聞き取りを元に、優先順位をつけて本人に合った、長期目標と短期目標を設定している。

職員全体でのカンファレンス、支援計画原案作成から支援計画を作成し同意を得て、支援を行っている。

保護者の評価

本人が楽しく通所出来ている現状を見ると、日頃の活動が充実しているのかなと思っている。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

引き続き、日々の指導記録、会議等で、計画を把握する。

子どもの成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新して支援に取り組んでいく。

保護者に分かりやすい説明を行う。目標が達成した際には、新たに目標を立て、支援していく。

8. 活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
12	2	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

職員間での情報共有を日次実施し、成長や環境の変化に合わせて指導内容や方法を更新している。また、季節の行事や戸外活動を毎月実施している。同施設内の保育園の大型行事（運動会、発表会等）にも参加し、児童発達支援事業だけでは成り得ない活動も行っている。

子ども達を重視し、やりたい事、行きたい場所など活動の中に取り組んでいる。

感染対策を行い、異世代交流活動も行っている。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

引き続き、子どもが楽しめるプログラムを取り入れ行っていく。

9. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
13	1	1	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

当施設は保育園、学童クラブ、放課後等デイサービスと併設しており、感染対策を徹底して、交流活動を行っている。

昨年同様、新型コロナウイルス感染予防として他の児童発達支援事業所との交流は行えなかったが、職員間での情報交換などを行っており、他事業所の取り組み、併用児童の活動の様子確認は行っている。

保護者の評価

保育園と併設されていて、交流もあり、とてもいい環境だなと思います。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

感染対策、衛生管理、体調管理を徹底し、今出来る範囲での交流や活動を見極めて取り組んでいく。
子どもの成長に合わせ、同年代・異世代の児童からの刺激を支援活動に取り入れていく。

【保護者への説明等】

10. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
13	1	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

施設見学時、新規利用契約時、個人面談時に説明を行っている。

事業所内に重要書類を提示している。（コロナ感染対策として現在は見学、モニタリング等以外は入館出来ない）

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

一日や月ごとの活動内の流れ、集団活動、個別活動などの説明等
運営規程、利用者負担等については、契約時に丁寧な説明に務める。
問い合わせの際には即答出来る様な体制を整える。

11. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
12	2	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

聞き取りを元に、職員で話し合い、何を行うべきかを検討し、取り組みやすい目標から計画を作成し、個人面談時、モニタリング時、送迎時などに保護者対面にて説明を行い、同意を得ている。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

引き続き、子どもの成長に合わせ、検討し、支援内容の説明を必ず行っていく。

12. 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング iv 等）が行われているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
11	3	2	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、施設内への入館や集会等が行えず、家族支援プログラムが行えずにいる。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

家庭支援プログラムをわかりやすく学ぶ講習（県主催のオンライン講習）のチラシ配布を行う。
日々の支援活動の内容から家庭での対処方法はアドバイスさせていただく。
要望があれば、家庭訪問などを行い、相談援助等を行う。

13. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
13	1	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

送迎時に保護者に様子を伝えている。また連絡ツールとしてコドモンの活用、連絡帳にて日々の様子、変化などを報告している。

保護者の評価

毎日詳しく連絡帳に様子を書いていただけるので、子どもの変化など、親が気付けないところも知ることが出来ている。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

引き続き、送迎時での申し送り、コドモンや連絡帳の活用を行い、子どもの様子を共通理解出来る事に徹底する。

14. 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
14	0	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

問い合わせがあった時は適時対応、必要に応じては面談を行う。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

コロナ禍の中で、玄関対応となっているが、保護者からの相談に対してはその都度対応する。
相談しやすい環境、保護者との信頼を築く。
保護者の希望があれば、定期的な面談や家庭訪問等も行っていく。

15. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
6	5	3	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

ひだまり保育園と合同で保護者会は年3回行う予定だったが、新型コロナウイルス感染予防対策の為、行えていないが、保護者参観で親子木育教室を行い、子どもの様子を見ていただくことが出来た。

当法人のグループ内には、親の意見交換、交流出来る場としてぴあ友の会があり、紹介を行っている。

保護者の評価

コロナの子ともあるので、保護者会が開催できないのもあって、お迎えで会う保護者とは話せても同じクラスの保護者とは話せない方もいる。

コロナ感染の影響もあり、なかなか送迎等で会ったりも少ないので他の保護者と交流出来ないのは残念です。

このコロナ禍というのもあり親同士の関りが全くないのが寂しいところ。仕方ないが、時代もあるのでしょうか・・・「情報やお友達の話が欲しいな～」と思う時もある。

コロナ禍で保護者会など特にないので。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

コロナ感染予防対策として、集会し、連携をとる事は難しいが、保護者会は維持し、保護者の連携支援に繋がるよう務める。

引き続き、ぴあ友の会などの紹介、親同士が交流できる場所の確保出来るように努めていく。

16. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
13	1	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

相談・申入れ等は迅速にかつ適切に対応している。

保護者の評価

相談したいことがあれば、すぐノートに書いて話し伝えることができているし、「こうしたらどうか…」など、アドバイスもいただける。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

引き続き、保護者との信頼構築に努め、周知・説明を行い対応していく。

専門的観点と一般的な観点など、様々な違いが出てしまうことがありますが、職員間での共通の理解に努め、迅速に対応していく。

17. 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
14	0	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

子どもの成長に応じて、オリジナルの伝達カード、紙面や視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施している。また、顔の表情や職員の共通した対応の取り組み。コドモン、連絡帳、おたよりの活用。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

引き続き、ツール作成、コミュニケーションの為に支援を行い、連絡帳や療育相談等を、保護者様のニーズに応じて活用していただけるよう、周知に努める。

個別の相談、面談も行う。電話での相談対応、希望のときは家庭訪問もする。

18. 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
13	1	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

おたよりを毎月発行、行事、日々の活動などの様子はその都度写真やプリント、コドモンなどを活用してお知らせしている。大誠会のHPでも活動を報告している。必要に応じて周知するよう努めていく。自己評価の結果は平成30年より実施。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

引き続き、コドモンやHPなどを活用し情報発信、自己評価の結果は毎年行う。

19. 個人情報の取扱いに十分注意されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
12	2	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

個人情報記載された書類は鍵付き書庫に保管している。職員には秘密保持に関する誓約書を入社時に取り交わしていると共に、児童の個人情報使用に関する同意書を保護者よりいただいている。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

引き続き、適切な対応に努め、取り扱いには十分に注意を払う。

【非常時等の対応】

20. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
12	2	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

各マニュアルを作成し、運用中。各委員会での施設内研修も実施。

感染症のルールについては、医療機関指導のもと、行っている。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策では、群馬県からのガイドラインに則り対策を講じ、法人内のルールにも則り行動している。

防犯・避難訓練は毎月、いきいき未来のもり各事業所と合同で行っている。

保護者の評価

特に無し。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

各マニュアルを運用し、必要に応じてマニュアルを改訂し周知徹底に務める。

引き続き、訓練等を行い、緊急時に備えて安全第一に職員間で周知していく。

21. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
14	0	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

施設内で行う月1～2回の避難訓練に参加。防災・震災・不審者等の避難訓練を実施。

保護者の評価

写真から毎回しっかり訓練しているのが見える。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

歩行が困難な児童に対応出来るよう避難車専用としてサークル車の活用。

防災頭巾、防災用具の持ち出し方など職員の共通した行動の徹底。

引き続き、月1～2回の訓練は継続して行う。避難経路や避難場所がわかりやすいように、掲示などの工夫に努める。

【満足度】

22. 子どもは通所を楽しみにしているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
12	2	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

感染対策を行い、安心・安全な環境作り、1人、1人の成長や特性に応じた支援活動を行う。子どもと共に成長し、学び・喜びを実感出来るよう取り組んでいる。

保護者の評価

慣れてきて、お友達の名前が出てくるようになった。嫌々足取り重く…かと心配でしたが、今や自分から走って園舎です。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

子どもの興味関心や好みを探り、プログラムを工夫するよう努める。

引き続き、児童にも保護者にも楽しく通っていただけるよう、明るく楽しい環境作りを行い、ここでしか出来ない経験を増やし、子ども達が出来ることを増やして行く支援を行う。

23. 事業所の支援に満足しているか

はい	どちらとも言えない	いいえ	未記入
14	0	0	0

現状評価（実施状況・工夫点等）

子どもの成長に合わせ環境作りを大事に取り組んでいる。

子ども達のやりたい、嬉しい、楽しいを大切に、出来る事を一つずつ増やしていく取り組み。

コロナ禍において、最大限出来る事を見出す。

月に一度の戸外活動や昼食作り

ひだまり保育園との併用活動、他園、他事業所との連携、情報共有、施設内、室内の清掃、アルコール消毒などの衛生管理、体温、食欲、午睡、看護師による服薬などの体調管理

保護者の評価

保育園だけでは経験できないことが、こちらではあったりするので、目新しいことも子供には新鮮だと思う。

保護者の評価を踏まえた改善・行動目標・内容

それぞれの不安や悩みなどの相談支援を行い、子供の成長を共に喜べる環境作りを行う。

様々な活動を通しての成功体験や学び（ルールやマナー）それぞれの経験を活かし

就学に向けた支援に取り組んで行く。

一人一人の特性を生かし、個別支援計画に基づき丁寧に取り組んでいく。

看護師の配置、内田病院小児リハビリとの連携、言語訓練、歩行訓練、日常生活動作の向上
衛生環境や体調管理に努め、元気に安心して通所していただける場所作り。